

事後評価シート

コード 12-4-1	事務事業名 CD貸し出し業務	所管部課 生涯学習部中央図書館
---------------	-------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 図書館法第3条に基づき、資料提供の一環として、視聴覚資料の収集、提供を実施する。	事業の区分 <input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事務事業
	実施内容、実施方法 音楽、朗読、演芸、効果音等、様々な分野のCDを収集・整理し、貸出を行う。 CDは一人3点までで貸出機間は2週間	根拠法令等 図書館法 西東京市図書館設置条例施行規則
	事業開始時期 平成12年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 所蔵数	活動指標の考え方(定義) 図書館で所蔵しているCDの数(各年度の3月31日現在の数字)
	購入数	新しく購入したCDの数
	成果指標名 1次 貸出件数	成果指標の考え方(定義) 1次 CDを貸し出した件数(貸出人数ではなく、貸出件数で計っているため)
	1次 蔵書回転率	1次 所蔵するCD1点あたりの貸出回数を表す値。貸出件数を所蔵数で割ったもの。
	2次	2次

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度	
事務事業データ	事業費(A)	千円	3,665	5,110	5,121	5,397	
	国庫支出金						
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		3,665	5,110	5,121	5,397	
	所要人員(B)	人	1.35	1.33	1.32	1.09	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	11,169	11,076	10,804	8,922	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	14,834	16,186	15,925	14,319	
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (貸出1件に要する費用)	千円	0.17	0.18	0.16	#DIV/0!	
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	点			13,000	14,500
		実績値	点	10,915	12,283	13,012	
	活動指標	目標値	点			1,400	1,400
実績値		点	1,035	1,421	1,447		
1次成果指標	目標値	件			95,000	102,000	
	実績値	件	86,339	89,573	100,873		
1次成果指標	目標値	回			8	7	
	実績値	回	8	7	8		
2次成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	現在、1人3点以内という貸出制限数について、増やしてほしいという要望が出ている。
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	16年度アンケート調査によると、26市中23市で視聴覚資料の貸し出しを実施 15年度決算は、人口が同規模の小平、立川、日野、三鷹市と比較すると、資料費は第3位、視聴覚資料費が占める割合は第2位である。
	運営上の制約条件・外部要因等	特になし

コード 12-4-1	事務事業名 CD貸し出し業務	所管部課 生涯学習部中央図書館
---------------	-------------------	--------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	4 上位施策と目的が合致しており、施策に対する貢献度は他の事業と同程度である	▼	民間団体では提供されていないサービスや民間サービスの利用が困難な層の利用を想定して、目標を設定している。
	2 目標を定量的に設定できないが、定性的には設定している	▼	
	4 今後しばらくの間、少しずつでも継続して実施する必要がある	▼	
2 市が必要と関与する	4 法律で任意での実施が規定されている	▼	民間団体は量的には上回っているが、本市サービスは、朗読・効果音等民間で十分でない分野についての資料提供や無料という点が民間より質的に上回っていると考えられる。
	2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	▼	
	1 民間団体が同種のサービスを十分提供し、質または量が上回っている	▼	
3 内容の適切さ	2 市民(市内)ニーズが推測でき、推測に見合ったサービスであることを説明できる	▼	予約やリクエスト等により利用者ニーズの一部把握が可能。全市民が利用可能なサービスであるが、直接的にはCDの貸出を希望し、かつ利用登録している市民。
	3 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	▼	
	1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民または団体である	▼	
4 実施手段の適切さ	4 現在、質・水準の改善に取り組んでおり、成果の向上が期待できる	▼	図書資料については、国・都にも同種の事業があるが、視聴覚資料についてはない。
	2 市直営の中で具体的な計画や目標等に基づきコスト低減に取り組んでいる	▼	
	5 国・都及び市内には同種の目的を有する他の事務事業はない	▼	
合計		34	

	評価結果	判断理由、説明等
総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	装備及び書誌作成の一部委託を実施し業務の効率化を推進した。今後も業務を見直し、可能な部分を外部委託化し、コスト削減を図る。

18年度における改善点	図書館では、無断持ち出しや破損を防止するため、書架には展示用ケースのみ並べ、CD本体は専用ケースに収納した上でキャビネットで保管している。このような管理及び貸出業務上必要となるバーコードや、整理番号の添付等の一連の装備作業を外部委託した(但し、購入したCDの一部についてのみ)。19年度については、全購入CDの装備について外部委託することを検討している。 19年度実施を目標に、書誌作成委託について検討している。
-------------	---

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	CDの貸出については、近年、民間企業においても低価格で行われている。他方、図書館でのCD購入内訳をみると、図書館で貸出す必要性の高い専門的なものは少ないにも関わらず、予算総額が増加している。時代背景の変化を踏まえると、民間で容易に借りれるものを図書館で無料で貸出す必要があるか疑問である。民間企業との棲み分けを意識し、図書館での貸出しは、その必要性のあるもの(資料としての専門性の高いもの)に限定する必要がある。
------	---	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	本事業で貸し出されているCDについては、市内の民間レンタルショップで低価格で貸し出されているものが多くあり、市が果たしてきた役割は終了したと思われる。他の事業との優劣を踏まえると、本事業の貸出しは、市が貸し出す必要性の高いものに限定されるべきである。
--------	---	---